

2021・12・14 開会

第4回町議会定例会

令和3年第4回町議会定例会が、12月14日に開会され、17日に閉会しました。

この町議会定例会では、木幡町長の行政報告のあと、一般質問のほか、条例の一部改正、各会計補正予算など、議案9件、同意一件について審議しました。

おもな内容については、次のとおりです。



◆行政手続きにおける押印見直しに伴う関係条例の整理に関する条例

行政手続の簡素化を図るため、関係条例の整理に関する条例を制定するものです。

◆長万部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

手続き等に関するもので、書面等によることが規定又は

想定されているものについて、電磁的方法による対応も可能である旨の包括的な規定が追加されたことに伴い条例の一部を改正するものです。

◆長万部町国民健康保険条例の一部を改正する条例

産科医療保障制度の見直しにより当該制度の掛金が引き下げとなるが、出産一時金等の支給総額については維持する内容で健康保険法施行令の一部改正がされたため、条例の一部を改正するものです。

◆長万部町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員の入団促及び処遇改善が求められていることから、消防団員の報酬の種類及び報酬額等の見直しを図るため条例の一部を改正するものです。

◆長万部町立学校設置条例の一部を改正する条例

静狩小学校が、令和3年度をもって閉校することに伴い条例の一部改正を行うものです。

◆一般会計補正予算（第六号）

令和3年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ一億二千四百十八万七千円が追加され、

予算総額六十億三千六百九十三万九千円となりました。

◆介護保険特別改正補正予算（第二号）

令和3年度介護保険特別会計予算に歳入歳出それぞれ二十五万二千円が追加され、予算総額九億三千八百六十六万六千円となりました。

◆公共下水道事業特別会計補正予算（第三号）

令和3年度公共下水道事業特別会計補正予算に歳入歳出それぞれ四十一万八千円が追加され、予算総額三億一千九百二十万五千円となりました。

◆病院事業会計補正予算（第四号）

令和3年度病院事業会計予算の収益的収入に百万円を追加し、予算総額六億九千九百六十五万一千円に、収益的支出に一千三百七十一万二千元を追加し予算総額七億三千五百九十四万六千円に、資本的支出に四十八万四千円を追加し予算総額一億三千三百四十八万七千円となりました。

◆一般会計補正予算（第七号）

令和3年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ三千三十万六千円が追加され、予算総額六十億六千七百二十三万九千円となりました。

木幡町長の

行政報告

= 令和3年12月14日 =

長万部町地域公共交通 活性化協議会

本町の地域公共交通の現状は、相次ぐJRや路線バスの減便、老人福祉バス・スクールバス事業の費用増大、北海道新幹線長万部関連工事に伴う中央線橋撤去時の代替手段の検討や新幹線開業に合わせた二次交通のあり方など課題が山積しております。

こうした課題を整理し、将来に向かって持続可能な公共交通ネットワークなどの検討・協議を進めていくため、町内外の関係機関の方々に委員となつていただき、地域公共交通活性化再生法に基づく「長万部町地域公共交通活性化協議会」が十一月二日に発足いたしました。

この協議会は、地域公共交通計画の作成及び実施に必要な協議を行うとともに、住民生活に必要な旅客運送の利便性の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項などを協議し、長万部町における持続可能な地域公共交通網の形成に必要な取組を推進していくこととなります。

東京理科大学関係

十一月十五日に東京理科大学神楽坂キャンパスを表敬訪問し、今年度から就任した東京理科大学の浜本理事長と面談し、改めて就任のお祝いを申し上げるとともに、今後の町と大学との関係について懇談させていただき、引き続き連携・協力していくことを確認いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症が収束した場合、令和五年度以降の経営学部国際デザイン経営学科の長万部キャンパスにおける全寮制教育は、予定どおり実施することとなりました。

なお、新築した教員住宅の入居は十月に完了し、学生寮の改修に向けては、引き続き検討中

このことでもあります。

町民説明会

北海道新幹線並行在来線の長万部・小樽間につきましては、新幹線開業後の地域公共交通の確保対策として、第三セクター鉄道やバス路線への転換などの選択肢から、沿線各町が本年十二月を目途に方向性の決定を求められております。

このことから、町民の方々と意見を交換して方向性を決定する必要があるため、十一月十八日と十九日に町内三カ所で町民説明会を開催いたしました。この説明会には、延べ三十四人の方々が出席され、貴重なご意見をいただきましたので、これらを尊重しながら方向性を決定してまいります。

また、中央跨線橋の元町から温泉町までの人道橋の撤去対策につきましても、多くの貴重なご意見をいただきましたので、今後の対策に活かしてまいります。

北海道新幹線関係

現在、町内では五つのトンネル工事が施工中であり、十二月

一日現在において、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑五千メートルのうち延長三千四百三十九メートルが、豊津工区では二千六十メートルのうち八百三十八メートルが掘削されており、また、内浦トンネルの静狩工区は、本坑五千五百七十メートルのうち延長二千七十メートルが掘削されており、さらに、豊野トンネル外一カ所では本坑二千三百五メートルのうち七百四十三メートルが、国縫トンネルについても本坑二千三百メートルのうち六百八十二メートルが掘削されているところであります。

立地適正化計画

「長万部町立地適正化計画」は、九月二十七日に策定し、十一月一日に公表いたしました。この計画は、都市機能の集約と公共交通の充実等による持続可能な都市を目指すもので、基本コンセプトを「災害リスクの低減による持続可能なまちづくりの実現」とし、まちづくりの方針を「拠点への都市機能誘導によるコンパクトな市街地の形成」「防災上の対応方針を「災害リスクの低い地域への住居・都市機能の誘導」と市街地にお

ける防災安全性の強化」と定めるものであり、将来の新幹線長万部駅を中心に都市機能を集約し、居住を誘導する区域を定め、それぞれ維持・誘導する施策を展開してまいります。

高速道路交通警察隊の移転

函館方面本部交通課高速道路

交通警察隊は、昭和五十七年に前身となる函館方面本部交通機動隊長万部分駐所として発足しました。平成二十四年に道央自動車道大沼インターチェンジが完成したことに伴い、豊浦インターチェンジから大沼インターチェンジまでの区間が、北海道本部から函館方面本部へ移管され、高速道路交通警察隊が長万部インターチェンジ料金所内に発足、令和二年には交通課の附属機関として編入され、令和四年四月からは、交通課による高速隊の業務管理及び事務処理環境の改善などにより八雲分駐所に移転することとなりました。

生活環境関係

本年四月から十月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却

施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は、約一千五トンで、前年同期と比較し、約五十六トン増加しております。

また、ごみ減量化の一環として実施しております衣類の無料回収は、役場窓口での随時受付と五月の巡回地域回収を実施し、今年度は十月末で四百八十キログラムの衣類を回収いたしました。

廃食用油は、今年度も役場・福祉センター・各会館のごみステーションに無料回収ボックスを設置して、現在までに六百八十リットルを回収しており、使用済小型家電についても、同じく役場庁舎内の無料回収ボックスで、七百キログラムを回収しております。

町民のみなさまには、今後ともごみの減量化やリサイクルへのご協力をお願いいたします。

町民の健康増進等

健康づくりの推進につきましては、特定健診やがん検診といった各種検診の受診率向上のため、無料クーポン券の配布や対象者への受診勧奨を行いながら実施しております。今後とも検診の必要性を周知し、早期

発見のため受診率向上に努めてまいります。

健康教室につきましては、十月に長万部高等学校で命の大切さや自己肯定感を高めるための授業を、十一月には町内の保育所、幼稚園で歯磨き教室を、また、マリア幼稚園では食育教室についても実施しております。今後は、高齢者を対象に食生活改善教室を実施する予定であります。

感染症対策

新型コロナウイルスワクチンの接種は、希望者に二回の接種を実施しており、現在、三回目の接種に向けて準備を進めております。

また、インフルエンザの予防接種は、長万部町立病院で実施中であります。

感染症の予防には、ワクチン接種のほか、手洗いやうがい、マスクの着用、咳エチケットなどの感染対策を徹底することが大切であります。今後も感染症対策について、町広報などにより周知を続けてまいります。

高齢者福祉関係

地域敬老会につきましては、昨年度に引き続き本年度においても新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域敬老会の開催の代替として記念品等を配布していただくことにより、高齢者の長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらっていただくよう各町内会等へお願いしていただくところ、対象者一千二百三十八人に対し二十七地域で一千百三十一人の方へ配布していただきました。

来年度こそ新型コロナウイルス感染症が収束し、例年どおり各地域で開催できることを願っております。

また、長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、九月十一日から二十日までの十日間、町内にある公衆浴場について助成を行い、無料開放を実施したところ、一千百二十三人が利用されました。

冬期福祉給付金 (福祉灯油)

本格的な冬に向かい、灯油料金の増高、電気料金の高止まりに鑑み、高齢者や障がい者等で

低所得の状況にある方に灯油購入費等の一部を助成し、経済支援により在宅福祉の向上を図ることを目的に、昨年度と同様に冬期福祉給付金事業を実施するため、補正予算を本定例会に提案いたしております。

農業関係

家畜の主たる飼料作物の牧草やサイレージ用トウモロコシは、大きな天候の崩れもなく、おおむね平年並の収量を確保している状況であります。

生乳生産量は、四月から九月まで約四千八百二十七トンを出荷し、前年に比べ約百二十トンの増となりましたが、乳価下落により乳代は約四億二千八百五十九万円で、前年に比べ約二千九百三十八万円の減となっております。

黒毛和牛の四月から九月までの販売頭数は百二十九頭、販売金額は一億八百二十二万七千円で、前年同期と比較して販売頭数は二頭の減で、販売金額は二千三百三十三万三千円の増となりました。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場運営事業を実施しておりますが、十月二十八日に

下牧が完了しております。この間の入牧延べ頭数は六万三千二百四十九頭で、前年に比べ二千七百五十一頭の減となりました。

林業関係

町有林一般造林事業は、共立地区にて地拵・植栽事業を三ヘクタール実施し、十月二十九日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業は、豊津・豊野地区にて作業道修繕工事を三千八百九十メートル実施し、十一月十八日に完了しております。

漁業関係

本町のホタテ貝養殖漁業での十一月末現在の種苗の生育状況は、へい死・変形等は平年に比べ少なく順調に生育しておりますが、春の耳吊り時期までの生育状況を、渡島北部地区水産技術普及指導所等各関係機関と連携し、調査を行う予定となっております。また、成貝は例年どおり十二月中からの出荷を予定しております。

国のアイヌ政策推進交付金事業にて行ったホタテ貝稚貝

管外移入作業は、本年十月末までに終了しております。

本年の秋鮭漁は、十一月二十六日現在、漁獲量は約百三十五トンで、前年に比べ約二百四十トンの減となっており、漁獲金額は約一億一千七百五万円で、前年に比べ約一億三千三百七十九万円の減となっております。

商工観光関係

中小企業の業況は、原材料価格の上昇や人手不足への懸念、さらにはコロナ禍における消費減少など、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、中小企業の健全育成と経営安定のため、国や道の様々な金融支援に対し、関係機関と連携し、町としての認定窓口等の設置を行っております。

また、長万部商工会では、会員の高齢化や後継者不足などにより、会員数が衰退傾向にあることから、地域活性化を図るため、平成三十年度から後継者対策を含む経営改善等の支援を実施しており、本年度は十七事業者が申請し、そのうち九事業者が採択となり、経営改善に努めております。

上期の観光客入り込み数は、

新型コロナウイルス感染症流行の影響により、前年度の約七万六千二百人に対し、本年度は約六万一千百人と、約十九パーセントの減少となりました。コロナ後の観光コンテンツ造成を目指すため、「長万部町観光地域づくり協議会」では、屋内体験から密を避けることが可能な屋外体験への移行を模索するため、モニタリングを実施し、通過型観光客を取り込む受入体制強化に努めております。

また、観光客誘致事業は、新型コロナウイルス感染症流行により、サップロピアガーデンふるさとPRステージやオータムフェストなど、参加を予定していたほとんどのイベントが中止となっております。

労政関係

本年度も季節労働者の労働環境向上のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、雇用相談や求人情報の提供、技能研修などを通して、通年雇用に向けた支援を行っております。

消費者相談関係

近年、悪質商法や訪問押し買い詐欺、料金不正請求など次々と新しい手口による消費者問題が多く発生しており、消費者の安全確保についての苦情相談など、住民に対して必要な情報収集や提供を行うため「消費生活相談員」を配置するとともに、全国消費者生活情報ネットワークを活用して全国の最新苦情相談情報を収集しております。

今後、ますます巧妙化する手口への対応が必要とされる中、専門研修参加等により相談担当職員の資質向上を図り、消費者啓発セミナーの開催、関連する部署間の情報交換や町広報での消費者の安全確保に関する情報周知を継続して行い、住民の消費者生活被害予防に努めてまいります。

建設関係

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事及び管内道路排水等清掃業務は、工期内に完成しております。

土木事業では、高砂地区の老朽化した道路側溝施設を取替

するための町道北九号線側溝取替工事につきましては、令和四年三月三十日までの工期で実施中であります。長万部町河川堆積土砂管理計画策定業務委託は、十二月二十四日までの工期で、また、道路メンテナンス補助事業として実施する、長万部町橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託は、令和四年三月四日までの工期で実施中であります。

住宅関係では、北海道新幹線建設に伴う町営住宅南部団地移設に関して、町営住宅仮称新南部団地建設工事基本設計業務委託につきましては、引き続き令和四年二月二十八日までの工期で業務を実施中であります。その他、町営住宅や各公共施設の修繕工事につきましては、計画的に実施しております。除雪関係では、協同組合長万部町建設協会と十一月四日に本年度の除雪に関する委託契約を締結し、町道や公共施設等の除雪作業を実施してまいります。

公園事業では、今年度のあやめ公園パークゴルフ場の利用は、十一月三日で終了いたしました。パークゴルフ場の利用者は三千四百十二人で、新型コロナウィルス感染拡大防止のため休業期間を設けたこともあ

り、前年度に比べ、四、九%の減となっております。また、長万部公園キャンプ場は、今年度も開設を取り止めたところであります。

公共下水道事業

公共下水道汚水管路カメラ調査外業務委託は、一号幹線系統を十月五日に、二号幹線系統は十一月二十五日に完了いたしました。

また、下水道マンホール蓋交換外修繕工事は、十一月二十五日に完了しております。

ガス事業

ガス本支管耐震化（JＲ室蘭本線工区）は、令和四年一月三十一日までの工期で施工中であります。

水道事業

十一月十五日に発生した旭浜地区での漏水事故につきましては、民間の方が誤って水道配水管を損傷させたことが原因で、旭浜地区の一部で断水状態に陥りました。町では早急に

状況を把握し、防災ラジオ等で対象地域に周知をしつつ、復旧工事につきましては三時間程度で完了いたしました。町民のみなさまには、大変ご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

その他、上水道静狩地区浄水施設三号取水井ボーリング掘削工事は、令和四年二月二十八日までの工期で施工中であります。

教育関係

静狩小学校の閉校につきましては、令和四年度の静狩小学校の児童数は全校生徒二名となる予定でしたが、静狩小学校PTA及び静狩振興会並びに静狩小学校教員の合同協議会を開催し、現状の児童数、将来の入学予定を勘案した場合、あまりにも少数での教育環境は、

児童の資質向上や本来の教育効果が見込めないことから、静狩小学校を閉校して長万部小学校に統合することが最善の方策ではないかという結論に至ったとの報告を受け、令和三年度末をもって閉校することといたしました。

統合先の長万部小学校への登下校につきましては、保護者

からの要望を考慮し、スクールバスを運行してまいります。

なお、閉校に伴う条例の一部改正及び閉校記念事業に係る補正予算を、本定例会に提案いたしております。

消防関係

本年十一月末現在までの火災発生はありませんでした。

救急件数は二百六十件で、うちドクターヘリでの搬送は十件となっており、前年同期と比較し火災が五件の減、救急が十七件の減、ドクターヘリ搬送件数は十二件の減となっております。

火災予防の事業では、秋の全道火災予防運動期間中、ポスターや「火の用心」の旗を掲示したほか、旅館、大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の防火査察を実施いたしました。

消防団の事業では、十月十二日に新入団員三名の辞令交付式及び教育訓練を実施いたしました。

また、令和四年の消防出初式につきましては、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から規模を縮小して挙行する予定であります。